



4月開催 市内観光ミニツアー

ミニミニ報告

東村山観光ボランティアガイドの会

4月1日(土)の市内観光ミニツアーは、22名以上の方にご参加頂き、廻田周辺の史跡をご案内しました。今年40回を迎える多摩湖町さくらまつりを二年ぶりにコースに加え、桜つり見学を楽しみにしていましたが、残念ながら天候の都合で翌日に延期になりました。当日は小雨交じりの寒い日でしたが、参加者との交流も深まり楽しいツアーになりました。

☆コース 東村山西口集合=(バス)～武蔵大和駅～宝珠禅寺～光明院～金山神社～

廻田緑道～出羽三山供養塔～一富田家の宝篋印塔～廻田の丘～瓦塔出土地～

西武園駅解散 ※天気事情により当初予定コースを一部変更して催行しました。



「宝珠禅寺」

天明年間の本末帳では正福寺の末寺となっているが、創建年代不詳の臨済宗建長寺派の寺院。本尊は如意輪間の観音坐像だが現在所在不明になっている。狭山三十三観音霊場の14番目で現在は正福寺の兼務寺。寛文8年(1668)に廻田村民によって造立された石造舟形光背浮彫地藏立像は市内で一番古い石造の地藏菩薩像である。所蔵文化財は現在正福寺が管理保管している。

「光明院薬師堂」

光明院は不動明王を本尊とする真言宗豊山派の寺院で不動堂、薬師堂が建っている。薬師如来像を本尊とする東光庵薬師堂は、縁起由来記により前旧跡は日向峰の頂上にある富田家墓地辺りにあったとされており、明治13年に現在地に移転した変遷が分かっている古刹である。境内には応永13年に建立された結衆板碑(応永の板碑)がある。この薬師堂の右部分に不動堂が建っている。



「金山神社」

創建年代は不詳だが、中世に鍛冶職であった小町大善左京主水が鍛冶の神である金山神を邸内に祀ったことに由来する。江戸期に御嶽権現、明治10年に稲荷社を合祀、明治40年に村内の神明社。戸隠神社を境内に遷座した。明治6年には廻田村の村社に列格した。



「出羽三山供養塔」

文化 8 年(1811) 建立の三山供養塔。山の神・田の神・海の神が宿る神々の峰として崇拝されてきた五穀豊穡、人民息災を祈禱する聖地で、三山参りは近世以来、作神としての信仰から農民の間で行われてきた。講中から代参者を決めて参拝するが、参詣記念と併せて受けてきた功德を多くの人々に分け施すものとして造立された。

「廻田緑道」

廻田の丘をまっすぐ通る東京都水道局の埋没水道敷の上を散歩道として整備したもの。丘の上からは八国山や狭山丘陵が見渡せる絶景スポット。八国峰と日向峰の峽の地は水の少ない武蔵野台地では水が豊富な地域で鎌倉時代にはこのあたりは湿地帯であったと言われている。



「多摩湖町仲よし広場の桜並木」



1 日の訪問時はほとんど咲いておらず、寂しい観桜となりましたが、桜にまつわるお話をしました。その後暖かい日が続き、6 日には満開となりました。



☆次回の市内観光ミニツアーは、5 月 14 日（日）八国山周辺の散策と北山公園 菖蒲苑にご案内し、早咲きの花菖蒲を楽しみます。

4 月 15 日の市報に開催案内を掲載しています。皆様のご参加をお待ちしております。 ☆

当日は約 20 種類の花菖蒲を見ることが出来ます。

【昨年同時期に咲いた花の一部をご紹介します】

白花キショウブ」5月6日開花



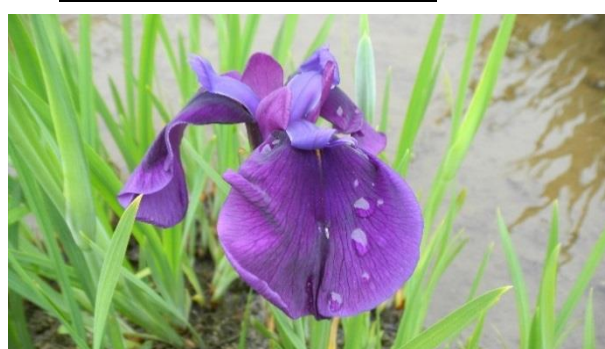
「棚田の藤桜」5月7日開花



「桃霞」5月7日開花



「八十八夜」5月9日開花



「清雅」5月9日開花



「練みこし」5月10日開花



「八重咲くキショウブ」5月11日開花



「沿海州」5月11日開花

